

課題と向き合い福島復興に貢献



県が整備を進める復興公営住宅・小名浜団地

26年度協会運営方針

震災から三年が経過し県内では復興公営住宅復興のシンボルとなる拠点施設が徐々に着工段階を迎える一方で、事業量の急激な増加による人材・資機材不足、入札不調などが大きな課題となっている。国、県ともに二六年度は復興事業を強力に推進する方針を示しており、本県の復興再生への貢献を目標とする協会にとっても重要な一年となる。地域の電設工事事業として役割を果たしていくために松崎勉相談役、坂本幹夫会長、大槻博太副会長、佐藤脩一副会長、八巻正隆副会長に二六年度の協会運営方針を聞いた。

▽現在の受注・施工環境から具象化していくの、共事を含めて工期の設けと課題をどう捉えていますか

▽松崎相談役 二六年度上期については、あな無しの施工環境について、やはり作業員に関する懸念が大きい。工期・工程がはつきりしていれば、積算・金額の取り決め、工期の設定についてはこれ対応が可能なのだが、公

において、今年度が復興需要のピークを迎える年になる見込みであり、この環境の中で、業界内の問題としては第1に電工員不足、第2に製作機器の納期の長期化が見られ、工期の遵守が難しい。第3に1・2を含めた単価の高騰があり、なかなか解決が困難な課題が存在している。

▽大槻副会長 入札不調については、単価調査の結果を確実に反映していただきたい。人材育成は協会としてロングスパンで考える。資機材の不足は考えにくい(高騰はあるかも！)

▽佐藤副会長 建物工事においては、型枠鉄筋工

の不足に伴い工程管理が把握しづらく、工事担当者の有効活用ができない状況にあります。その要因が人札不調または人材不足につながっています。

▽八巻副会長 相双地

▽こうした課題に対して業界、また各企業が取り組むべきことは何ですか

▽松崎相談役 民間工事の場合は、クリエイティブな発注者、施工者が一体となった知恵の集約が必要だと思ふ。単に着工が遅れているだけの物件であれば、一切何もする必要がないようにして頂くのが望ましい。

▽坂本会長 人材不足の課題に対しては、将来の業界需要を考慮しながらの対応になるが、全社的に一律の対応は不可能

である。解決策としては、業界需要がある一定水準で推移する予測でも付くような状態に社会がなればの話である。政府が目指す国土強靱化政策は当然最重要課題ではあるが、省庁が、予算が決定次第、一斉に発注作業に着手する現行方式にも疑問を感じているのが現実である。

▽大槻副会長 目先のことも合わせて人材育成を着実に進めたい。

▽佐藤副会長 従来通り、技術者の雇用および育成が重要課題であり、また新エネルギー事業に参入するにしても新しい資格が必要となり、さらなる人材育成を各企業とも力を合わせて取り組む必要がある。

▽将来に向けて取り組むべきと考えていることとはありますか

▽松崎相談役 団塊の世代の引退に伴い、熟練者が第一線から退いていく。技術の継承と人材の育成が何よりも急務だと

考えている

▽坂本会長 まずは若手人材の雇用促進を進め、若手の技術・技量の習得を進め社内従業員の代わりに対応していくのが、最大の課題となっている。再生可能エネルギーへの対応にしても

施工技術の習得は若手電工・若手技術者を念頭に養成していくべき課題と考えている

▽大槻副会長 人材育成が第一！再生可能エネルギーは、次にこの事業を何につなげていくか模索中！

▽佐藤副会長 建設投資の平準化(予算執行)をお願い致します。わが福島県は少子高齢化に伴い、県有施設の見直しおよび建て替えが必要となりますが、ここ十年間新築物件は少なくなっており、若い技術者が育つ環境ではありません。この機会に継続的な建設投資をお願い致します

▽八巻副会長 地球温

暖化防止のため、エネルギー源としてオール電化の推進等、CO2削減が今後とも必要です。大震災・原発事故により環境汚染・安全性を考え、再生エネルギーの比率を高めることも大切と思われる。人材育成についてはインターンシップ等、学生が早く入社できるように、PRとして現状を継続すべきと思われれます

技術継承、人材育成が急務

▽松崎相談役 団塊の世代の引退に伴い、熟練者が第一線から退いていく。技術の継承と人材の育成が何よりも急務だと

考えている

▽坂本会長 まずは若手人材の雇用促進を進め、若手の技術・技量の習得を進め社内従業員の代わりに対応していくのが、最大の課題となっている。再生可能エネルギーへの対応にしても

施工技術の習得は若手電工・若手技術者を念頭に養成していくべき課題と考えている

▽大槻副会長 人材育成が第一！再生可能エネルギーは、次にこの事業を何につなげていくか模索中！

▽佐藤副会長 建設投資の平準化(予算執行)をお願い致します。わが福島県は少子高齢化に伴い、県有施設の見直しおよび建て替えが必要となりますが、ここ十年間新築物件は少なくなっており、若い技術者が育つ環境ではありません。この機会に継続的な建設投資をお願い致します

▽八巻副会長 地球温

暖化防止のため、エネルギー源としてオール電化の推進等、CO2削減が今後とも必要です。大震災・原発事故により環境汚染・安全性を考え、再生エネルギーの比率を高めることも大切と思われる。人材育成についてはインターンシップ等、学生が早く入社できるように、PRとして現状を継続すべきと思われれます



発行所
(一社)福島県電設業協会
発行人 坂本 幹夫
〒960-8114
福島市松浪町9-6
(福島県電設会館)
TEL (024) 533-6226
FAX (024) 533-6235
E-mail: info@fukudensetsukyo.or.jp
編集印刷 福島建設工業新聞社
福島市西中央2-59

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

際立つ明るさ
驚きの高効率
T.LEDs

E-CORE
高効率LEDダウンライト【E-CORE】

際立つ明るさ 265lm	驚きの高効率 50lm/W	最新の省エネ性 電圧制御1/7
-----------------	------------------	--------------------

※当社白熱電球ダウンライト器具(D-7200NB(W))と40W形ミニクリップランプの明るさをE-COREの明るさをベースに白色相当(LED0-44001W-L51)の比較

東芝ライテック株式会社
http://www.lit.co.jp/
郡山営業所 TEL(024) 922-5511

Panasonic
ideas for life

LEDの光に、かつてない美しさ。

革新LED
EVERLEDS
Eバーレズ

※商品画像はイメージです。

お問い合わせ先…パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 東北電材営業部 福島電材営業所
〒963-8024 福島県郡山市朝日2丁目5-15 TEL.024-939-7731

詳しくはホームページで www.panasonic.biz/es/everleds/

復興へ設備の力不可欠

県総合設備協会 新年賀詞交換会



県総合設備協会本多一島市のホテル辰口屋で新年賀詞交換会を開いた。

今年一年の活躍を願い乾杯する出席者

当協会、県空調衛生工業業協会、県設備設計事務所協会の構成三団体会員と来賓約二百人が出席し、本県復興の加速化に向けて設備業界の活躍を誓い合った。

松崎勉会長代行は「復興公営住宅整備など震災復興を最重要課題としてとらえ、避難者が一日も早く安定した生活を取り戻せるよう、協会が一丸

となって対応していく」と述べ、震災前からの課題である省エネルギー、再生可能エネルギー分野にも積極的に取り組んでいく考えを示した。

来賓の渡辺宏喜県土木部長は「建物に息を吹き込む建築設備は非常に重要であり、本格化する復興公営住宅、拠点施設の整備には皆さんの経験によって培われた技術力が不可欠」と会員の活躍に期待を寄せた。平出孝朗県議会議長は「正念場を

野内氏が講演

新年賀詞交換会に先立ち、新春講演会を開いた。野内中宏県土木部長が「復興に向けた建築住宅行政と二十六年度予算」と題し、復興公営住宅の整備計画と進捗状況、昨年末に改定した県住宅生活基本計画と二十六年度当初予算の概要を説明した。その後、本県の復興・復興は皆さんの力なくして成し得ない」と述べ、協力を求めた。

復興公営住宅整備については、第二次計画四八九〇戸の市町村別整備箇所や進捗状況等を説明し、「第一次計画の概ね三七〇〇戸は二十七年までに入居を目指して整備する。これまで県営住宅の

業は復興を実感する年になる」と復興実現への協力を呼びかけた。協会の佐藤憲保県議の発声で乾杯し和やかに歓談した。

浪江町で営業再開

相双電気の本社事務所



営業を再開した相双電気本社事務所

当協会相双支部の相双電気(株)阿部展才代表取締役が今年一月六日浪江町の本社事務所の営業を再開した。

同社は東日本大震災で約二年十月ぶりに本社での事業を再開した。約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。

約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。

約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。

できることを一つずつ

相双電気株式会社
代表取締役 阿部 展才

「気持ちを入れ替えて」とか「新たな気持ちで」とか心持ちに関する言葉が溢れています。三年前の原子力災害は浪江町民の心を完全に引き裂きました。そして、いまだ帰町を決めかねている住民が三割ほどいます。福島県浜通りの方々の気持ちもいまだ複雑で一言では言い表されません。しかし、私は望みがあるなら動きながら考えようと思ひ、浪江町で事業再開いたしました。方をもつことです。なぜなら避難を余儀なくされた方々が、震災前まで出来ていたことが出来ない地域になることは難しく、

「気持ちを入れ替えて」とか「新たな気持ちで」とか心持ちに関する言葉が溢れています。三年前の原子力災害は浪江町民の心を完全に引き裂きました。そして、いまだ帰町を決めかねている住民が三割ほどいます。福島県浜通りの方々の気持ちもいまだ複雑で一言では言い表されません。しかし、私は望みがあるなら動きながら考えようと思ひ、浪江町で事業再開いたしました。方をもつことです。なぜなら避難を余儀なくされた方々が、震災前まで出来ていたことが出来ない地域になることは難しく、

「気持ちを入れ替えて」とか「新たな気持ちで」とか心持ちに関する言葉が溢れています。三年前の原子力災害は浪江町民の心を完全に引き裂きました。そして、いまだ帰町を決めかねている住民が三割ほどいます。福島県浜通りの方々の気持ちもいまだ複雑で一言では言い表されません。しかし、私は望みがあるなら動きながら考えようと思ひ、浪江町で事業再開いたしました。方をもつことです。なぜなら避難を余儀なくされた方々が、震災前まで出来ていたことが出来ない地域になることは難しく、

約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。

約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。

約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。

約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。

約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。

約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。

約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。

約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。

約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。

約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。

約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。約一年十月ぶりに本社での事業を再開した。

人と環境を明日につなぐ、
二ノテックのシステムエンジニアリング

情報・通信・制御・計装

株式会社二ノテック
NINOTEC

代表取締役社長 樽川 啓

本社/〒963-8577 郡山市島二丁目44-2
TEL (024) 935-1700 FAX (024) 935-1706
拠点/仙台支店・いわき営業所・福島営業所・棚倉出張所

換気扇・照明器・空調機
オール電化・太陽光発電

三菱電機住環境システムズ株式会社
eco changes

福島支店

〒963-0547 郡山市喜久田町卸1-76-1
TEL(024)959-6060 FAX(024)959-6066

ディーゼル発電機 ガスタービン
ソージェネレーションシステム

ヤンマーエネルギーシステム株式会社
いわき営業所

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一
TEL (0246) 581-581
TEL (0246) 581-581
FAX (0246) 581-581

地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

OKADA

電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

岡田電気産業株式会社

【本社】
〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL (0246) 25-6111 FAX 25-6101

白河/TEL(0248)27-3385代
須賀川/TEL(0248)72-7136代
河西/TEL(024)952-5455代
山南/TEL(024)923-3298代
山北/TEL(024)939-3081代
津島/TEL(0242)37-2660代
町原/TEL(0244)22-5105代
馬場/TEL(0244)35-1234代
馬場東/TEL(024)546-3700代
福島南/TEL(024)553-1181代
いわき南/TEL(0246)28-6111代
勿来/TEL(0246)62-3122代

山形・茨城・栃木・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟
電材営業所 45ヶ所
住設建材営業所 9ヶ所

インターンシップ支援事業



照明機器取付けの現場実習

当初は、現場の説明を聞いて、三階の配線の補助をしました。説明を受けているときにキュービクルについての質問に答えられなかったのが、事前に勉強しておけば良かったと思います。配線の補助では線を真っすぐにしたり、指示され

今回、旭電設工業様で四日間のインターンシップをさせて頂きました。初日は「安全作業について」のビデオを見た後、高所作業車を操作させて頂きました。とても貴重な体験をさせて頂き、作業員の気持ちが分かりました。

二日目は現場実習で、屋内配線工事をやらせて頂きました。慣れない作業でしたが、アドバイスを頂きながら、回数を重ねて頂きました。会社の方が長きに切ったりしました。

手本を見ていたときは、簡単なことだと思いましたが、なかなか手本通りに出来ず、なかなか難しかったので、確認しておきました。

場所をやってしまった電気工事は大変な仕事だと改めて思いましたが、社員の方は終わった後の解放感がすごいです。おっしゃっていました。

私もいつかの解放感が分かるように、これからの学校生活や第一種電気工事士取得のための勉強に向けて、頑張っていきたいと思えます。



佐藤 一孝

電気工事の大変さ実感

今回、旭電設工業様で四日間のインターンシップをさせて頂きました。初日は「安全作業について」のビデオを見た後、高所作業車を操作させて頂きました。とても貴重な体験をさせて頂き、作業員の気持ちが分かりました。

当協会相双支部は一月二十八日から三十日まで三日間、県立小高工業高校電気科二年生九人のインターンシップを受け入れた。研修期間中、施工中の建築設備、屋外電気設備工事現場で現場代理人が施工概要、作業状況を解説。完成した施設では利用状況や実践的なメンテナンスを紹介したほか、社内研修ではCADを使った作図や積算、照明など電気設備のプラン作りを実際に体験することによって電気設備技術者の仕事とされる国家資格を説明した。

今回のインターンシップでは、耐震工事をして

二日目は現場実習で、屋内配線工事をやらせて頂きました。慣れない作業でしたが、アドバイスを頂きながら、回数を重ねて頂きました。会社の方が長きに切ったりしました。

手本を見ていたときは、簡単なことだと思いましたが、なかなか手本通りに出来ず、なかなか難しかったので、確認しておきました。

場所をやってしまった電気工事は大変な仕事だと改めて思いましたが、社員の方は終わった後の解放感がすごいです。おっしゃっていました。

私もいつかの解放感が分かるように、これからの学校生活や第一種電気工事士取得のための勉強に向けて、頑張っていきたいと思えます。



鈴木 淳也

就職への意識高まる

多くありました。第二種電気工事士の施工図を立成したプランから数量体化したうえで、複雑で拾い出し「工事費の計算」成果品の出力をした。平面図が出来ました。設計図と実際に比べて、各部屋建てたときの積算見積

小高工高2年生が研修 相双支部で9人受け入れ

格などを説明、技能五輪ビデオなどの教材を使って電気設備工事の研修を行った。

研修期間中、施工中の建築設備、屋外電気設備工事現場で現場代理人が施工概要、作業状況を解説。完成した施設では利用状況や実践的なメンテナンスを紹介したほか、社内研修ではCADを使った作図や積算、照明など電気設備のプラン作りを実際に体験することによって電気設備技術者の仕事とされる国家資格を説明した。

手本を見ていたときは、簡単なことだと思いましたが、なかなか手本通りに出来ず、なかなか難しかったので、確認しておきました。

場所をやってしまった電気工事は大変な仕事だと改めて思いましたが、社員の方は終わった後の解放感がすごいです。おっしゃっていました。

私もいつかの解放感が分かるように、これからの学校生活や第一種電気工事士取得のための勉強に向けて、頑張っていきたいと思えます。

- ### 県土木部の主な幹部人事(新任分)
- ◆部長 松本英夫(県北建設所長)
 - ◆技監 鈴木武男(道路次長)
 - ◆次長・企画技術 室井良文(会津若松建設所長)
 - ◆次長・道路 大河原聡(道路計画課長)
 - ◆次長・都市 鈴木典弘(都市計画課長)
 - ◆次長・建築 山本洋一(営繕課長)
 - ◆参事 宗形和雄(県中建設所長)
 - ◆参事 梅津達男(相双建設所長)
 - ◆復興住宅担当課長 村井弘道(建築住宅課主幹)
 - ◆建築指導課長 連沼敏郎(建築住宅課主幹)
 - ◆営繕課長 斎藤祐一(営繕課主幹兼副課長)
 - ◆県北建設所長 柳沼政明(企画技術次長)
 - ◆県中建設所長 高橋直正(南会津建設所長)
 - ◆会津若松建設所長 杉明彦(土木企画課長)
 - ◆喜多方建設所長 島俊秀(空港施設課長)
 - ◆南会津建設所長 堀田洋一(砂防課長)
 - ◆相双建設所長 浦山悦雄(技術管理課長)
 - ◆相馬港湾建設所長 小像良夫(港湾課主幹)
 - ◆小名浜港湾建設所長 和田豊(技術管理課主幹)
 - ◆福島空港所長 寺木正宏(まちづくり推進課主幹)

県の定期人事

松本氏が土木部長就任

建築担当次長は山本氏

県の定期人事異動(四月一日付)で、土木部長に「松本英夫県北建設事務所」は「別表」の通り。土木部の主な幹部級人事は、

長はすべて異動し建築担当次長には山本洋一(営繕課長)が就いた。本庁二十課室のうち十四課・室長が異動、出先は8建設のうち6所長と、特設3所長が異動した。

他部局では、直轄理事兼安全管理監兼総合安全管理室長に藤島初男(県立医科大学理事(管理運営担当)兼事務局次長、農林水産部技監に大谷秀聖(部長、生活環境部の環境創造センター整備推進室長に菅野信志(原子力安全対策課主

長はすべて異動し建築担当次長には山本洋一(営繕課長)が就いた。本庁二十課室のうち十四課・室長が異動、出先は8建設のうち6所長と、特設3所長が異動した。

- ### 協会のうごき
- 【1月】
 - 9日 新年挨拶まわり(県・関係機関)
 - 第3回正副会長・総務委員会合同会議(協会)
 - 28日 インターンシップ支援事業(相双支部:小高工業高校)
 - 29日 (一社)埼玉県電業協会様との意見交換会(ホテルプリランテ武蔵野)
 - 【2月】
 - 7日 第4回正副会長・総務委員会合同会議(ホテル辰巳屋)
 - 福島県総合設備協会「新春講演会」「新年賀詞交歓会」(〃)
- ※3月については、該当なしです。

電気設備の総合メンテナンスは当協会に!

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

一般社団法人 東北電気保安協会

福島事業本部	福島市矢矧町1-22	☎(024)526-1311
福島事業所	福島市矢矧町1-22	☎(024)526-2111
原町事業所	南相馬市原町区上波佐原432-1	☎(0244)22-3568
郡山事業所	郡山市富田町福川原1	☎(0248)932-6054
白河事業所	白河市十三原道上3-51	☎(0248)22-6066
いわき事業所	いわき市好間町上好間字洞42-1	☎(0246)36-1177
若松事業所	会津若松市北町大字上久田字村北147	☎(0242)32-3350
田島事業所	南会津郡南会津町田島字南下原66-1	☎(0241)62-4847

電気技術総合コンサルタント!!

自家用電気施設のごことは、お気軽に、ご相談下さい。

一般社団法人 東北電気管理技術者協会

協会本部/仙台市青葉区花京院二丁目1-11プレシーザ仙台ビル TEL(022)261-6015

福島県支部	いわき市平赤井比良3-20	☎(0246)21-5516
福島電気管理センター	伊達郡国見町藤田字日波二-1	☎(024)585-2572
郡山電気管理センター	田村郡三春町大字平沢字高戸屋32-1	☎(0247)62-6490
会津電気管理センター	喜多方市塩川町会知字八幡町3050-1	☎(0241)27-7664
相双電気管理センター	南相馬市原町区仲町一丁目157	☎(0244)22-2817
白河電気管理センター	石川郡浅川町大字浅川字本町113	☎(0247)36-3712
いわき電気管理センター	いわき市平泉崎字南集25-3	☎(0246)34-5551

高品質で省エネ LEDランプはレディオック

LEDiOC

岩崎電気株式会社

http://www.iwasaki.co.jp

岩崎電気株式会社 郡山営業所 〒963-8044 郡山市町東3-103 TEL.024(96)112292

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電線資材一式卸

戸部電材株式会社

仙台市宮城野区日の出町2丁目2-13
TEL (022)783-8181

■福島営業所	福島市瀬上町字桜町3-12-3	☎(024)553-8551(代)
■福島西営業所	福島市大森字街道下57-1	☎(024)544-6228(代)
■郡山営業所	郡山市大槻町下町東52	☎(024)961-6667(代)
■郡山南営業所	郡山市大槻町下町東52	☎(024)961-6667(代)
■白河営業所	西白河郡西郷村大字米字中山前84-10	☎(0248)21-1971(代)
■原町営業所	南相馬市原町区北原字本屋敷153	☎(0244)23-6106(代)
■相馬営業所	相馬市権木字北原104-1	☎(0244)35-6350(代)
■いわき営業所	いわき市鹿島町御代字大一田1-1	☎(0246)76-1055(代)
■平営業所	いわき市平塩字出口43-5	☎(0246)35-6481(代)

電設資材全般卸

地域と共に歩む

東芝電材マーケティング株式会社

東北電材社

福島支店

福島営業所	TEL (024)553-4165
郡山営業所	TEL (024)934-3065
いわき営業所	TEL (0246)75-0700

一賛助会員募集一

(一社)福島県電設業協会は、顧客に高性能・高品質・高効率な設備のトータルシステムを適正価格で提供することで新しいニーズを掘り起こします。

【賛助会員の特典】

- ・機関紙をはじめ各種広報資料をお送りします
- ・毎年発行する「会員名簿」に社名を記載します
- ・名刺等の肩書きに賛助会員の表示ができます

※詳しくはホームページをご覧ください

福島支部

福島ユニテツ
ドの活躍に期待

東日本大震災発生から三年が経ち、福島市の除染作業も徐々に進み、復興住宅や医大等の大型物件も発注され、ようやく復旧から復興へ向けた歩みを感じられるはじまりました。しかし、いまだ県内外に避難している方や仮設住宅で不便な暮らしをされている方もいらっしゃいます。より迅速に復興が進むことを願うばかりです。

そんな中、明るいニュースとして今年福島県初のJリーグチーム「福島ユナイテッドFC」が誕生しました。

いわき支部

原発火災の危険

原発問題が毎日のように報道されていますが、汚染水や使用済み燃料の取り出しのことが多いようです。しかしながら、小生は最も危険な原発火災は「原発火災」であるとの危機感があります。

いま福島第一原発！2・3号機で、人が入れない環境下、格納容器内で発生する水素を抜き爆発を防ぐため窒素を入れていきます。建屋内は可燃物が散乱し、何らかの原因（乾燥による自然発火・ネズミ災害漏電等）で火災になったら、汚染状態が悪い中で消火方法がない

郡山支部

新興国と他
業種の熱気

ある日、新聞を眺めていたところ、シエトロ(日本貿易振興機構)で新興国進出支援事業の募集記事を見つけた。無料の言葉に惹かれ軽い気持ちで予備知識はもろろんのこと、勉強もせず興味本位だけで応募したところ、採択されました。

早速、担当者から「東京でベトナムのビジネスフォーラムが開催されるので参加しませんか？」とお誘い。これまた軽い気持ちで参加したところ、会場は物々しい警備で、「何か場違いな所に来

相双支部

道路の重要性

二月二十二日に常磐道・常磐富岡IC〜広野ICが再開通しました。安倍首相の発言を受けて相馬IC〜山元IC、南相馬IC〜浪江ICが一十六年度内、浪江IC〜常磐富岡ICが二十七年GW前の開通予定と発表されました。これにより念願のいわき〜仙台がつながります。東日本大震災で南へのルートが断たれた私たちにあって開通は非常に楽しみです。

「備えあれば憂いなし」。そうならないように防火体制と消火体制の安全性を関係機関に働きかけていこうと考えています。

白河支部

電力自由化の落とし穴

過日、石川和男政策研究大学院東京大学教授の講演を拝聴してきました。演題は「電力自由化と電力システム改革」。原発事故による脱原発論議の活発化と比例するようになり、ここぞとばかり再浮上してきたのが「電力自由化論、いわゆる電力システム改革」です。

一九九五年代、経産省内で電力十社の地域独占を見直し、新規参入による競争を促すべきと議論されました。しかし自由化は工場、オフィスビルなど大口需要家にとどまり、電力会社を強制的

会津支部

オリンピックの成功を願う

皆様は、オリンピックはご覧になりましたでしょうか？選手一人ひとりの一生懸命な姿はとても素晴らしいと感じました。特に、浅田真央選手の演技は日本中が感動したのではないのでしょうか？

さて、二〇二〇年の東京オリンピックまであと六年です。災害復興、原発問題とまだまだ課題は残されていますが、ぜひ、大会が成功するように願っています(株富士工業商会・中島淑弘)。

編集後記

会津地方も長い冬の季節が過ぎ、ようやく春の足音が聞こえてきました。二月には太平洋側の地域に記録的大雪が降り、各地で甚大な被害に見舞われました。

大雪により主要道路が遮断され、物流がストップしてしまつたのです。災害とはいつとこで、それが被害にあうか分からないとつくづく感じました。

防災用品は、一人あたり三日分の水や食料などの備蓄をするといわれています。実際、今回も備蓄用品があつたので助かった方もいたようです。

機能アップ
Superラインチェッカ TLC-C形
株式会社 戸上電機製作所 東北オフィス
TEL 022-295-5571 FAX022-295-5573

最新鋭 CIM CAD+CAM
株式会社 山形電機製作所
本社/〒990-2211 山形市十文字1318-5
TEL023-686-4316代 FAX023-685-1011

ちよつと一服! 豆知識
「風力発電①」
風力発電は、風の方で風車を回し、その回転運動を発電機に伝えて電気を起こす発電方法です。

東和電機工業株式会社
受配電制御システム設計製造
中央監視システム設計
各種プラント制御システム
空調・衛生計装制御盤の設計製造

LED蛍光灯
交通・鉄道信号/駅務機器
日本信号株式会社 東北支店
〒980-6122 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AERビル
TEL (022)261-8371 FAX (022)225-4627

配電盤 制御システムメーカー
古川電気工業株式会社 郡山支店
支店長 小野寺 優
福島県郡山市若葉町11-23 ☎ (024) 934-0859
FAX (024) 934-0861